

みなさんは、何を軽米らしさにあげますか？

昔きゅうり、店頭 の炭火で魚を焼く風景、今はないあの街角の建物・・・などなど

## 「テーマパークを歩きましょう」

雨のお盆をぬけたら、もうすっかり秋になりましたね。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

先日、私たちは大黒醤油工場跡のレンガ周りの手入れをしました。、上館の内澤さんから頂いた、たくさんのサルビアを植えたのです。持ちなれないカマを振って雑草と格闘し、固く締まった土にスコップを立てて。いやはや園芸って重労働なんですね。



でも、その終わったときの爽快感はどうですか。汗を拭きふきレンガのくすんだ朱色を背に、燃えるような花の赤がとても鮮やかに

目に映りました。そのコントラストによやっと私たちが求める何かがおぼろげに見えた気がしたのです。

そう、それはテーマパークというものかもしれませんね。一歩足を踏み入れたら、ちがう世界に迷い込んでいた、それがその本質だとしたら、もしかしたら軽米町のすべてがテーマパークになってくれるかもしれません。

あ、でも、ちょっと待ってください。軽米町がテーマパークになるとしたら、私たちはもうすでにテーマパークに住んでいることになりそうですよね。う～ん、だったらいま軽米町にいることを、もっともっと楽しまなくちゃいけませんね。だってテーマパーク軽米は夢の町なのですから。

「しおれはじめた花は摘み取って、水をたっぷりあげてね」

大切に育てた花を見送る内澤さんの言葉は、私たちにとって課題とも言うべき軽米に住む上での楽しみ方のヒントとなりました。そう、軽米を楽しむには、花を愛でるように町を愛さなくてははいけないのです。

今を盛りに実を結びゆく花々と、朽ち壊れていこうとしていた軽米レンガ。その未来と過去という別々の方向に進んでいたものたちが寄り添って、はじめて何かが生まれたのかもしれない。それは新しい道？さあ、どうでしょう。まずは花の手入れや草取りを手伝ってみませんか？それがテーマパーク軽米への入場チケットですから。

**開館 1 周年** 元屋町の旧大黒醤油工場の煉瓦のボイラー室を探偵団がまちかど煉瓦館として開館してから 1 年がたちました。

**煉瓦館花壇整備中！** 草取り（草取りをされた方のお名前をお知らせ下さい）、サルビア（上館の内沢トミエ様より）ありがとうございます。

**ライトアップ** 今年もおまつり期間中、レンガ建造物のライトアップを予定しています！

**ジャズライブ決定** 10月12日（土）夜7時から 旧日山商店レンガ酒蔵 3000円  
出演 ザ・マサちゃんズ（佐山雅弘 piano 小井政都志 bass 大阪昌彦 drums）  
ゲスト 伊太地山 伝兵衛 G&Vo

